



一般質問

10人の議員から13件の一般質問

一般質問とは？

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。

質問の範囲は、町の行財政全般のほか、地域の問題や住民生活に関わる事項など多岐にわたっています。



小川 龍美 議員（公明党）

成年後見制度の利用促進について問う

町長 制度の促進に向け適切に推進しつつ

質問 成年後見制度は、展開が求められるが認知症、知的障害や精神障害等により財産の管理や日常生活に支障がある人を支える制度で、平成12年に施行された。その後、認知症高齢者は年々増加しており、知的・精神障がい者も増加傾向にあるが、成年後見制度の利用率は低い。このような状況を鑑み、国は平成28年4月に「成年後見制度の利用促進に関する法律」を成立させた。地方公共団体にも自主的かつ主体的な施策

質問 成年後見制度は、展開が求められるが認知症、知的障害や精神障害等により財産の管理や日常生活に支障がある人を支える制度で、平成12年に施行された。その後、認知症高齢者は年々増加しており、知的・精神障がい者も増加傾向にあるが、成年後見制度の利用率は低い。このような状況を鑑み、国は平成28年4月に「成年後見制度の利用促進に関する法律」を成立させた。地方公共団体にも自主的かつ主体的な施策



成年後見制度啓発パンフレット

こんな質問もありました
和太鼓を使った介護予防・認知症予防事業の取り組みを
町長 住民の自主的な活動で効果が認識できれば支援のあり方を考えたい。



大坪 国広 議員（日本共産党）

国民健康保険制度の広域化の対応について

町長 町としては必要な財源確保に努めていく



町役場の国民健康保険担当窓口

質問 町は、30年度から始まる国保の都道府県単位化に向けて準備を進めている。毎年、医療費が増加する中で、安心できる医療の充実を求め、次の5点について町長の所見を伺う。
問① 29年度保険証更新時の加入者数と短期

町長 被保険者数は1万68人。短期証は475世帯900人、資格証が33世帯43人。
問② 都道府県単位化の目的は。
町長 安定的な財政運営や効率的な事業を確保し、持続可能な社会保障制度を構築する。
問③ 今迄と何が変わり、加入者のメリットは。
町長 セーフティネットである国民健康保険

証・資格証の発行数などは。
問④ 今後の保険料や都への納付金は。
町長 30年には納付金等が確定し、示される。
問⑤ 今後も国や都への財政支援を求め、法定繰入をするべきと思うが。
町長 法定繰り入れとすべきかは国が判断すべきである。町としては、町民の健康と生活を維持するために必要な財源確保に努めていく。

町長 地域オーダーメイドは地域で最も必要な施策分野を特定し、



アスレチックで遊ぶ子ども（松山西公園）

町長 当初から変化することを想定しており、その都度、議会に示し機敏に事業を展開していく。
問④ 30年度予算への反映は。
町長 特色ある公園づくりなど、事業展開をするための予算編成に取り組んでいる。



森 巨 議員（自民新政会）

町長公約の地域オーダーメイドをどう具現化させるのか

町長 地域住民と協力しながら対応する

質問 町長の選挙公約の一つに地域特有の課題を解決する旨の地域オーダーメイドを掲げていた。地域課題は年齢により異なるものがある。また、地域単独では解決が困難なものもあるが、どのように具現化させていくのか、町長の所見を伺う。
問① 各地域課題についての情報収集の手法は。
町長 地域オーダーメイドは地域で最も必要な施策分野を特定し、